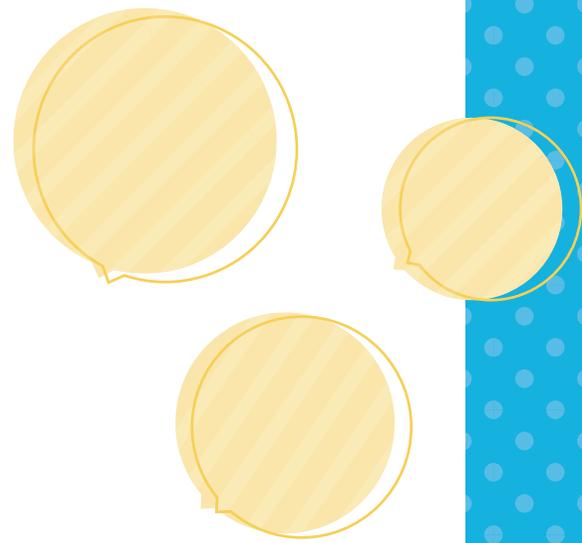
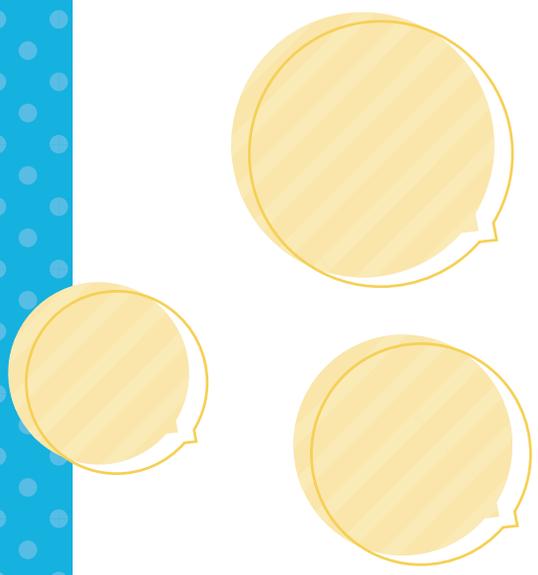


第4期南あわじ市

教育振興 基本計画

ダイジェスト版



南あわじ市

学ぶ楽しさ日本一 

～生涯を通じて、学びの**いぶき**がみなぎるまちづくり～

南あわじ市はこどもも大人も楽しく学び続けることができる

学ぶ楽しさ日本一をめざしています。

学ぶ
楽しさ
日本一

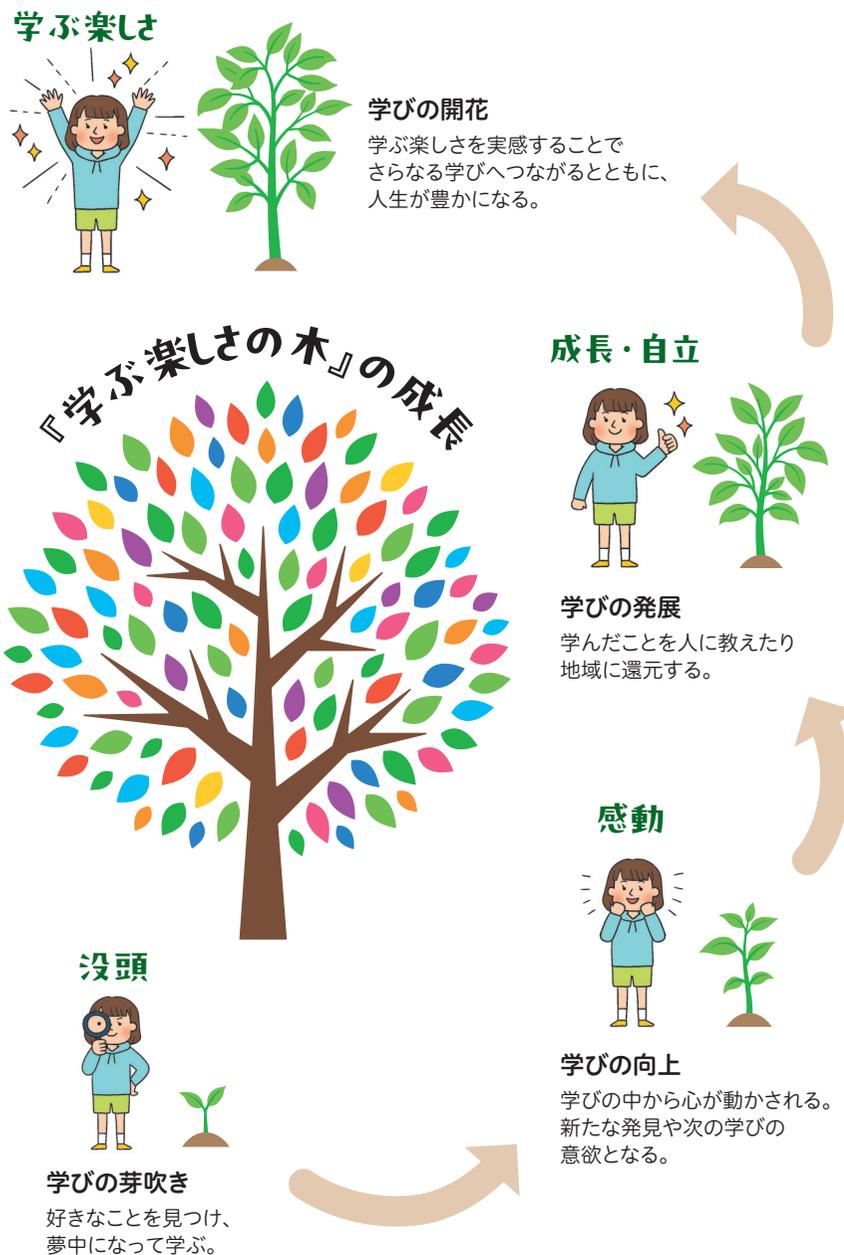


年齢にかかわらず、興味・関心があることに触れる経験は、毎日の暮らしを彩りあるものにします。

南あわじ市では、すべての市民が生涯を通じてどんなときでも楽しく学ぶ機会を持ち、心豊かな日々を送れるよう、多くの学びの場を整えていきます。

そして、市民の学びの「活気=いぶき」が、地域社会全体の活性化へつながり、「学ぶ楽しさ」であふれるまちをめざします。

学ぶ 楽しさ ってなに？



「学ぶ楽しさ」とは 「好きこそものの上手なれ」

ある物事に興味を持ち、自分で調べたり、上手な人を見習ったり、周りの人と一緒に切磋琢磨したりといった、何かに「没頭」することから「学ぶ楽しさ」が生まれます。

その中で「発見」があり「感動」が生まれ、それを繰り返しながら、知識を得て、自らが成長していく方法を習得していきます。

そして、これらの経験を応用することで「自立」した学びとなり、もっと多くのことを吸収できるようになると、さらなる「学ぶ楽しさ」へ繋がっていきます。

施策 体系

基本理念

南砺市
学ぶ楽しむ日本一



生涯を通じて、

学びのいぶきが

みなぎるまちづくり

基本目標 1

予測困難な時代を
生き抜く力を育む
教育の推進

- 1-1 「確かな学力」の育成
- 1-2 「豊かな心」の育成
- 1-3 「健やかな体」の育成
- 1-4 社会的自立に必要な
資質・能力・態度の育成
- 1-5 特別支援教育の推進
- 1-6 幼児期の教育の充実
- 1-7 人生100年を通じた学びの推進

基本目標 2

自分らしく
安心して過ごせる
学校・家庭・
地域等の構築

- 2-1 多様性の尊重と
包摂性のある教育の推進
- 2-2 学校・家庭・地域との
協働による豊かな学びの推進
- 2-3 子どもの育ちを
社会全体で支える取組の推進
- 2-4 安心・安全の確保

基本目標 3

安心・安全で
質の高い学びを
実現する教育環境
の整備・充実

- 3-1 教育DXの実現に向けた
教育の情報化の推進
- 3-2 修学環境の整備・充実
- 3-3 教職員の資質・能力の向上
- 3-4 学校の組織力の向上
- 3-5 生涯学習環境の整備・充実



『学ぶ楽しさ日本一』に向けてこんなことをします



01

知恵あふれ、ふるさとを大切に作る人づくり 「ふるさと創造学習」

南あわじ市が世界に誇る伝統芸能である淡路人形浄瑠璃を題材とした、小学校から中学校までの9年間での授業を設計しており、「知恵あふれ、ふるさと南あわじを大切に作る人づくり」を目標とした取組を推進します。



△淡路人形座による出前講座（中学1年生）

02

「読み解く力」、理解のその先へ

読み解く力を育むことは、情報を自分なりに分析し、意見を持つことができるようになり、学習の基盤となる資質・能力である言語能力の育成にもつながります。各教科学習の中にも「読み解く力の育成」を意識した活動場면을導入するとともに、読み解く力の「下支え」となる学習環境の整備として、学校司書と図書担当及び市立図書館の連携による読書活動を推進します。

03

「改革」でめざす学び続ける子の育成

主体性、コミュニケーション能力を高めて子ども全員が活躍できる授業を実施します。

学校全体で取り組む研修等の時間を確保するとともに、会議や協議の時間を削減し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。



△子どもたちの授業風景（学び合い）

04

学びを変え、学校を変える 「スクールイノベーション」

学力向上、ICT教育の推進、特別支援教育の推進、いじめ・不登校問題への対応など、学校が抱える様々な課題に対し、各校が独自の切り口で主体的に課題解決を図り、『学ぶ楽しさ』を追求する授業や行事、取組等を展開することで特色ある学校づくりを推進するとともに、教育DXを通じて授業改革、校務改革を行います。



△ICT教育の推進

05

学ぶ防災から「行動する防災」

主体的に南あわじ市の防災に関わり、協働して安心・安全なまちづくりに貢献しようとする意識を高めるため、防災ジュニアリーダー認定講座の実施や中学校同士の防災パートナー協定の締結、舞子高校による出前授業などを含む、「防災ジュニアリーダー養成事業」を推進します。



△防災ジュニアリーダー認定講座（初級編）

07

未来が広がる、未来につながる「夢プロジェクト」

小中学生を対象に、スポーツや文化の魅力や楽しさ、努力することの大切さを感じてもらうとともに、友達を大切にすることを育み、大きな夢を持ち豊かな生活を送ってもらうことを目的として、スポーツ選手や文化人等を講師として招いた特別授業を行います。



△気象予報士を招いた特別授業

06

なりたい自分を見つける「アフタースクール」

小学生を対象に遊びを通じた体験プログラムを実施することで「なりたい自分を見つける」ことができる居場所をめざし、地域、市内企業、関係機関と連携し、文化芸術やスポーツ、学習に触れる場をつくり、子どもたちの自主性、積極性、コミュニケーション能力などを育みます。



△創作書道（ダンスとコラボ）

地域住民が「まちの先生」として子どもたちに関わることで、自ら成長し活躍できる場としての役割も果たします。

08

理解を深め、意識を育む「人権の文化」

教育や啓発を通じて、一人一人が自由・平等で、差別や人権侵害があってはならないという人権を尊重する意識が社会の中に定着し、市民の普段の態度や行動に表れる人権文化の実現をめざして、関係団体と連携しながら取り組んでいきます。



△じんけんサマーフェスティバル2024
4人権啓発団体による出展

09

市民が集い、学び合う拠点「みんなの公民館」

地域の生涯学習の拠点として、市民の健康・スポーツ・文化・芸術など、様々な学びを支える場となるとともに、地域住民の学び合いや、主体的な学びの支援に取り組んでいきます。

地域で支援を必要としている方への対応や、地域の課題解決に向けた支援など、身近な公共の拠点として、活動を広げていきます。



△公民館講座 (ZUMBA ダンス)

11

日常に息づく芸術・文化
「魅力あふれる美術館・資料館」

南あわじ市滝川記念美術館玉青館では、現代南画界の第一人者直原玉青（じきはらぎょくせい）画伯の絵画や、平成27年に出土した兵庫県指定重要有形文化財「松帆銅鐸」を全7点そろって展示しています。

淡路人形浄瑠璃資料館では、国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃の資料を展示しています。



△松帆銅鐸

10

市民に開かれた「図書館づくり」

子どもから高齢者までの多世代が集う市民の生涯学習の場となるよう、開かれた図書館づくりを市民とともに進めていきます。

各世代に応じた選書や特集コーナーなど、読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援する環境や仕組みづくりを進め、学校図書館の学校司書と市立図書館の図書館司書の連携により学校と市全体で読書活動を推進します。



△南あわじ市立図書館

12

学びで彩る人生 100 年時代「生涯学習」

人生 100 年時代を迎え、市民一人一人が生涯にわたって、必要な時に必要な学びを通じ、それぞれの幸せや生きがいを感じることができるとともに、自己実現や地域のつながりの形成、地域社会での学習成果の活用に取り組むことができる質の高い学習機会の提供に取り組めます。

本市の歴史・文化や社会教育資源・地域資源を最大限に活かした文化・スポーツ活動の活性化を図ります。

市民に実感してほしい「学ぶ楽しさ」として、
次の7つを掲げます。

7つの 「学ぶ 楽しさ」

新たな気づきや
学びを得る楽しさ

1

ふるさとを知り、
ふるさとに関わる
楽しさ

7

市民に実感してほしい
7つの「学ぶ楽しさ」

困難なことにも
チャレンジする
楽しさ

2

考え工夫し、
想像する楽しさ

3

本物に
触れる楽しさ

6

4

仲間と協働して
やり遂げる楽しさ

5

思いや考えを
表現する楽しさ



より詳しく
知りたい方は
こちらから